

こんにちは婦人会「さくら」です

2月も気づけば残りわずかとなりました。冬枯れの色彩もない、寂しい庭に水仙の花が咲きました。年々丈が短く、花も小さくなってきているように感じますが、咲いてくれると嬉しいものです。早春の寒さの中にかすかな春の兆しが見られるようになりました。季節の変わり目でございます。体調管理にお気を付け下さい。

～婦人会・暮らしのエッセンス～

春の到来を告げる梅の花がそろそろ見頃を迎えます。今月号の題材に調べてみたらなんと「梅」の異名が数多くありましたので、少しご紹介します。



「春告げ草」、香りも良いので「匂い草」「香栄え草」、春風を待つので「風待ち草」「香散見草」とも呼ばれています。また「好文木」（晋の武帝が、学問に親しむと花が開き、怠ると花が開かなかったという故事に由来する）ともいわれ学問の象徴でもあるようです。万葉集や古今和歌集など、梅が題材の歌が沢山ありますが、古来より人に愛されてきた証なのでしょうね。



婦人会「さくら」
平成27年2月27日
第157号